

2018年4月18日

SGH プロジェクト記録

国際基督教大学高等学校訪問報告

日時：2018年4月18日（水） 午前9時20分～10時30分

場所：国際基督教大学高等学校校長室

ICU 高校側出席者： 副校長 中畠裕一 先生
教頭 原かおり 先生
(中村一郎校長はICU 理事会と重なり不在であったが、大筋の内容について了解を得ているとのこと。)

AFICS-J 側出席者： 山本 和
(高瀬千賀子さんは用事ができて出席できず)

経緯・概要： ICU 高校については、昨年9月初、SGH プロジェクトのテストケースとして、AFICS-J から森田宏子さんと小生（山本）が国連勤務の経験に基づくプレゼンを3年生の全生徒を対象に実施し、反省点はあるものの先方からは高い評価を受け、是非今年も改善点を考えつつ支援して欲しいと要請されていた。今回はその要請を具体的にフォローアップするために訪問したもので、具体的に次の3点につきさらなる協力をするのが適切であると、見解の一致をみた。いずれも、国連に関する学びの重要性を認識して、同校の教育プログラムの強化を図りたいという先方の意向を反映したものである。

1) 6月4日からの一週間をキリスト教週間とする予定であるが、そのなかの行事として6月6日（水）（ペンテコステ礼拝のあと）午前10時から12時に「マルチイベント」と題して20を越えるイベントを用意し、全生徒約760名がそれぞれの興味、関心に応じて参加するイベントに、今年は「国連についての学び」を加えたい。2時間あるので、講演と生徒とのディスカッション、ワークショップを組込みたいので協力して欲しいとのこと。このイベントについて

では小生の昨年のプレゼンなどを踏まえて是非やって欲しいとの先方の意向でしたので、引受ける方向で考えると伝えました。たまたま青山学院が礼拝のメッセージと国連の使命を関連させたプログラムを希望していますので、その内容をも考えながら準備したいと考えています。

2) 7月14日(土)春学期の終業式(8:30~)の日に9:30~10:30の時間帯に3年生全員に対して国連に関する講演会を行う。3年生はこれから進路を決める重要な時期であるので影響は大きいと考える。去年は9月の学期始めであったが、7月の終業式のタイミングがより効果的というのが高校の判断。これに対し、私からは、それは重要な機会であるから、適切な人を探す協力をしたいが、個人的な意見としては、もし可能であればICUの特別招聘教授である吉川元偉元国連大使に国連で働くことの意義も含めてお願いできれば理想的ではないかと提案し(まだ高校で吉川大使は話をしていない)、内々私からご意向を伺ってみようということとした。ご都合がつかない場合には経験の深いAFICS-Jのメンバーに当たってみることとする。

3) これまで3年続けてきたスタンフォード大学での研修に代えて、ニューヨークのコロンビア大学での研修(7月29日~8月6日)を計画しており、そのなかに「国連学習」を加えたいと思っている。具体的には最低、午後半日は「国連学習」に当てたいということで準備をしているがアドバイスをもらえれば幸いである。この研修は、海外での研修を専門に行う株式会社ISAに企画運営を依頼し、ニューヨークにある教育財団Japan ICU Foundationと同窓会の協力を得て実施するとのことであるが、国連の見学、国連関係者との交流などについては良い内容にしたいので、AFICS-Jの協力も仰ぎたいとのことであった。本件については、ニューヨーク在住のAFICS-J会員も居るので(佐藤さん、森田さん、永吉さんなど)相談して出来るだけ協力したいと述べておいた。Japan ICU Foundationの一行が4月末にICUにきて打ち合わせするので、その状況も踏まえつつ対応、協力することとした。

それぞれについて、今後具体的な可能性や課題を洗い出し、準備を進めるということを確認して、本日のミーティングを終了した。

以上